

JACR委員会報告 [国際交流委員会]

伊藤 ゆり 専門委員・国際交流委員長

大阪国際がんセンター
がん対策センター 疫学統計部

松坂 方士 弘前大学医学部附属病院 医療情報部



がん登録法に基づく全国がん登録制度が始まり、日本のがん登録データは、ますます注目が高まっています。全国がん登録資料が使えるのはまだ先ではありますが、現状で使用可能なデータを用いて、世界に向けて学術的に情報発信していくことが重要です。

年に一度のイベント国際がん登録学会は、2017年はオランダ・ユトレヒトで10月17～19日の日程で開催されます(www.iacr2017.org/)。ヨーロッパ開催の際はレベルの高い発表が多く、よい刺激を多くもらえます。今回は60を超える国から250以上の演題登録があり、そのうち16演題は日本からの演題で、国内外のがん登録研究者とネットワークできる絶好の機会です。毎年参加していると次第に顔見知りが増えてくるフレンドリーな学会です。藤本伊三郎賞は、IACRで発表した演者に表彰するJACRの奨励制度で、賞金もあります。35歳未満の方にはEnrico Anglesio賞という若手研究者奨励賞もありますので、ぜひチャレンジしてみてください。

2017年11月13～17日にタイのバンコクにおきまして、ロンドン大学衛生学熱帯医学校のCancer Survival Groupによるがん生存解析のショートコースが開催されます(https://www.cancersurvival2017.com/)。毎年ロンドンで開催されるコースは遠くてなかなか行けないという方にもオススメです。基礎からがん登録資料を用いた生存解析を勉強できます。

また、2018年3月に同じくタイにおいてアジアのがん登録が集う会合が開催される予定とのこと。より身近なアジアの国々のがん登録の方々と交流するよい機会になると思いますので、こちらも併せて参加をご検討ください。詳細は追ってWebやML等でご案内します。

→ Cancer survival workshop 2017

<https://www.cancersurvival2017.com>



公衆衛生学会・ 自由集会のご案内

片山 佳代子 監事

神奈川県立がんセンター 臨床研究所
がん予防・情報学部



今期の日本公衆衛生学会総会は、10月31日(火)～11月2日(木)の日程で、鹿児島県で開催されます。

公衆衛生に関連した課題について幅広い議論をすること、また関連する保健担当者や研究者の交流を目的として、『自由集会』の場が設けられています。

JACRは、がん患者をはじめとした国民のよりよい生活を実現するため相互連携の協定: Japan Cancer Information Partnership (J-CIP) をがん患者団体の連合体組織である全国がん患者団体連合会(全がん連)と、先の愛媛での学術集会以締結しました。

そこで鹿児島の学会で、全がん連の皆様ならびにがん患者さんのサポートを様々な形で実践している『NPO法人がんサポートかごしま』の皆様と、がん登録関係者とともに、今後どのようながん情報を発信していくのが望ましいのか等について議論するために、JACRと初の共催で自由集会を開催します!!

ぜひ、地域、全国、院内がん登録に関わる皆様はもちろん、行政のがん対策関係者、研究者、地域保健活動に従事している方々に広く周知していただき、多くの方にご参加いただけたら嬉しいです。鹿児島県でお目にかかりましょう。

自由集会開催日程

日時: 11月1日(水) 18:00～

会場: かがしま県民交流センター第9会場 大研修室

